

# 越境人

2015 SPRING vol. 11

コリア国際学園 広報誌

特集1

チームKIS、ユネスコスクール世界大会へ堂々の参加！  
～国際会議の企画・運営の中心として大活躍～

Reflection

ユネスコスクール世界大会高校生フォーラムを振り返って

邊廣烈くん 姜尚潤くん 都悠兆くん 黃智苑さん

特集2 第5期卒業生インタビュー 学んだ！悩んだ！成長した！

南川瑞希さん(大阪府立大学 地域保健学域看護学類)

黄 勝雅さん(梨花女子大学 国語国文学科)

沈 相宇くん(ソウル大学 社会科学系列)

河 光希くん(韓国航空大学 航空運航科)

特集3 第2回「3言語スピーチ大会」を開催



## 2 特集1 チームKIS、ユネスコスクール 世界大会へ堂々の参加!

～国際会議の企画・運営の中心として大活躍～

### Reflection ユネスコスクール 世界大会高校生フォーラムを振り返って

邊 廣烈くん（高等部3年 「おもてなし」班責任者）  
姜 尚潤くん（高等部2年 「おもてなし」班）  
都 悠兆くん（高等部2年 「工房・問題解決」班）  
黄 智苑さん（高等部2年 「おもてなし」班）

## 10 特集2 第5期卒業生インタビュー 学んだ! 悩んだ! 成長した!

南川瑞希さん（大阪府立大学 地域保健学域看護学類）  
黄 勝雅さん（梨花女子大学 国語国文学科）  
沈 相宇くん（ソウル大学 社会科学系列）  
河 光希くん（韓国航空大学 航空運航科）

## 14 特集3 第2回「3言語スピーチ大会」を開催



越境人 2015年春 第11号

・発行日 2015年3月12日  
・発 行 学校法人コリア国際学園  
〒567-0057 大阪府茨木市豊川1丁目13番35号  
TEL:072-643-4200 FAX:072-643-4401  
E-mail:contact-school@kis-korea.org http://www.kis-korea.org/

※越境人は年2回の発行です。※本誌記事を無断で転載等する事を禁じます。

- 16 ACTIVITY REPORT  
・KIS、国際バカロレア（IB）  
「日本語DP」候補校に  
・2014年度第5回卒業式を挙行  
・後期教養・LA科授業、  
「知識の論理」の公開授業開催  
・哲学カフェ～  
「『ゆるす』ってどういうこと？」を開催

- 18 NEWS REPORT  
・韓国からの中高生、KIS訪問＆交流  
・地域でのイベント参加や小学生と活発な交流  
・KIS学生会、ワンワールド・フェスに参加  
・KIS恒例、生徒による自主的な  
プレゼン報告会を実施

- 20 SPECIAL REPORT  
・フィジーへの1年間の英語研修制度が開始  
・多文化共生をめざした地域での取り組み

**DAIGEN Co.,Ltd.**

株式会社ダイゲン 代表取締役社長 梅村忠幸

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号  
TEL.06-6943-0081(代) FAX.06-6943-6370

第一元観光株式会社

■プレジール森ノ宮店  
〒540-0003大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号  
TEL&FAX/06-6941-3344  
■プレジール若草店  
〒579-8056東大阪市若草町4番6号  
TEL.072-987-2833 FAX.072-985-7465

株式会社プレジール玉串

■プレジール玉串店  
〒578-0932東大阪市玉串町東3丁目3番6号  
TEL.072-961-7800 FAX.072-962-9001

株式会社ブレイクスルー

■和食居酒屋 菜蔵  
〒540-0003大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号  
TEL&FAX/06-6943-0895  
■九州料理 のぼせもん  
〒537-0025大阪市東成区中道1丁目1番11号  
TEL&FAX/06-6976-3355  
■BAR GIORNATA  
〒537-0025大阪市東成区中道1丁目1番14号  
TEL&FAX/06-7860-3175  
■釜のや・森ノ宮店  
〒540-0003大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号  
TEL&FAX/06-6910-6155



## 建学の精神

# 境界をまたぐ「越境人」に。

21世紀の国際社会は、グローバル化と情報化が加速する一方で、政治・経済・社会・文化のあらゆる面において、解決すべき人類共通の課題にも直面しています。とりわけ東アジアは、その集約的な地域のひとつとしてダイナミックな変化が予見される歴史的な転換期にあります。

こうした時代状況を未来に向けて切り拓いていくためには、なにより個性と多様性の尊重を基礎とした創造力の溢れる人間が求められています。言い換えれば、柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人間の育成にほかなりません。

コリア国際学園（KIS）は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指します。

コリア国際学園（KIS）は、すべての教育活動を通じて相互の信頼と協同を深め、地域社会に根ざし、コリアにつながり、世界に開かれた国際学校として、世界と東アジアの持続可能な発展に貢献します。

## 教育理念

### 多文化共生

民族的アイデンティティと自尊感情を育むとともに、多文化共生社会の実現に向けた知識、技能、態度を身につけた人間を育成する。

### 人権と平和

人間の尊厳と民主主義を尊重し、世界平和を希求する普遍的価値を創造するとともに、地球的視野を持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる人間を育成する。

### 自由と創造

真の自由を理解し、豊かな個性と多様性を基礎とした創造力の溢れる人間を育成する。

### ◆ 校章・シンボルマーク ◆



目であり  
宇宙であり  
太陽であり地球であり  
そして みつめていて、考えていて  
そして いつも ゆれている

### ◆ デザイン・文 ◆

黒田 征太郎 Seitaro Kuroda  
(イラストレーター)

くろだ・せいたろう ● 1939年大阪府生まれ。  
'92年にNew Yorkへ移住。イラストレーターとしてポスターなど幅広いアーティスト活動を展開。  
コリア国際学園の発起人のひとり。

### ◆ コメント ◆

色は 中心が 赤（火）（光）  
その外が 黄（アジア）  
その外が 草色（地）  
その外が 青（天であり水）  
としました



そういう「世界の最前線」に、一年  
チームKISは  
「リトル・ジャンアンント」！

待つててはいけないんです。

自分で飛び込んでいかないと。



**世界32カ国の約800名の高校生たちが集結！**  
2014年11月6・7日、岡山市のホテル・グランヴィアを会場として、日本政府とユネスコ共催による、「ユネスコスクール世界大会Student (高校生) フォーラム」(UNESCO ASPnet International ESD Events for Students) が開催されました。

一昨年(2013年度)度の「日韓中3ヶ国国際高校生会議」、昨年2014年の「アジア太平洋地域8ヶ

国国際高校生会議」に続き、今回は、世界33ヶ国（インド、バーレーン途中不参加）+日本9地域、約800名の高校生たちが集結、「持続可能な社会づくり（KIS生なら誰でも知っている「ESD」）をめざして課題を共有し、共に未来への提言と行動を提議するためのフォーラムが実施されたのです。

まず、40ヶ国・地域による現状レポート・提言がホテル内4会場でなされ、そこで共有された共通の課題をディスカッション。予定調和的な「大人のなあなあ」議事進行は見られません。デイベートのように勝敗が分かれるような激しさはないものの、きっとティーンエージャーだから許されるということもあるのでしょうが、なかなか純粋でストレートな意見が飛び交い、ハラハラとドキドキとワクワクがない交ぜとなつた、きわめて有効な意見交換が、「共創」的に展開します。正直、こんな面白いディスカッション、ひさしぶりに見ました。

黄智苑さんと姜尚潤さんは、今年度からの新メンバー。当日は、世界的な高校生たちにピッタリ寄り添い、ガイドする役目。姜尚潤さんは、当初、国際的な雰囲気に気圧されていました。

たようでしたが（本人談）、当日は池田の目を真っすぐに見て曰く「待つてはいけないんです。自分で飛び込んでいかないと！」と。黄智苑さんは、韓国からの留学生。まだKISに来て一年も経っていないのです。日本語もまだ完璧ではなく、心配していたのですが…。そんなことは杞憂に終わりました！まさに、飘々

越境人 特集1

# チームKIS ユネスコスクール世界大会へ 堂々の参加！

～国際会議の企画・運営の中心として大活躍～

人権や平和、環境などの世界が直面する諸課題の解決と持続可能な社会をめざして、「持続発展教育（ESD）に関するユネスコ世界大会」（閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合）が、2014年11月10日から12日に、世界各国から約1,000名が参加する中、愛知県名古屋市で開催されました。

この国際会議は、第57回国連総会（2002年）で決議され、国連教育科学文化機関（ユネスコ）が推進機関となり2005年から始まった「国連ESDの10年」の最終年の取り組みとして開催されました。

これに先立ち、11月6日・7日の両日、「ユネスコスクール世界大会Student (高校生) フォーラム」が岡山市で開催されました。同フォーラムには日本を含む世界32カ国40チームの高校生と教員、運営スタッフとして岡山・大阪の高校生、教員、大学生、そして、ユネスコや文部科学省関係者及びオブザーバーなどあわせて約800名が参加しました。

KISからも生徒代表5名が事前の準備セミナーなどにも精力的に参加した上で、当日の「世界高校生フォーラム」の企画・運営・進行などの重要な役割を担い、大会成功に大きな力を発揮しました。ここでは、同高校生フォーラムの報告や参加した生徒たちの感想などをリポートします。



## ユネスコスクール世界大会Student (高校生)フォーラム共同宣言

2014年11月7日採択

世界は、地球的規模の諸問題と各地域における諸問題を解決しようと多大な努力を続けてきました。戦争、紛争、環境、文化、エネルギー、食について着実な進歩を遂げてきましたが、今日にいたっても私たちはまだ多くの問題に直面しています。そのため私たちASPnetの高校生は、様々な地域の背景を考慮しつつ、世界の重要な諸問題について更に知るために、学び合いの努力をしています。

2005年に始まった「国連ESDの10年」は最終年を迎えるました。この10年間、私たちは学び合いの大切さを知り、地球的諸問題に共同して立ち向かう姿勢を強めることを学びました。これは、世界の持続可能な発展の成功にはESDが必要欠くべからざるものであるという明確な信念のもとに達成されました。その結果、世界は私たち若者世代によるこれら諸問題への参画を、これまでにも増して期待しているように見えます。

2014年11月の今日、新しいESD世代の代表として世界32ヶ国から私たち高校生はここ日本の岡山市に集いました。「日常生活と社会において持続性を阻害しているものは何か」、「持続性を促進するために重要なものは何か」というテーマのもとで、私たちは身近な問題から話し合いを始めました。

その後、発展とは何かという話し合により、私たちはその多様性を確認しました。

私たち高校生が先頭に立って、環境、文化、伝統、そして世代や国を越えて人を尊重していくという意見が述べられました。私たちは責任あるかたちで、様々な目に見える活動により出来る限りその輪を広げていくことが必要です。またそのためには、一人ひとりが自分の生活の中で小さな行動から始めることが大切です。

たとえば、友達との協力やリサイクル運動、ボランティア活動への参加をとおして、ESDに興味・関心を持てるような楽しい学びの場をより多くの人に紹介していくことができます。そしてこのことは、若者の独創的な企画によってESDや若者世代への興味を喚起することにもなるでしょう。私たちは共に行動できることがたくさんあることに気付きました。

これらのディスカッションに基づいて、高校生である私たちが現在と未来においてできることとなすべきことを模索して意見を交換しました。その結果、合意にいたったことは次の5点です。

1. 自分たちの力は無力ではないにせよ限られています。しかし共に助け合い、持続可能性について学び合う機会を大切にして、ESDについて発信していきましょう。
2. 私たち高校生は、一人ひとりが地球に生きる一員としての自覚を持ち、環境と周りの自然を意識していきましょう。長期的な視点にたって、学校でESDが教えられるようになるために責任ある行動を明確にとりましょう。
3. 私たち一人ひとりが責任をもって互いのつながりを育てることで、様々な生活様式と文化と意見を共有して尊重しましょう。そうすることで、学び合いと知的な刺激を促進しましょう。
4. つながり合いとコミュニケーションをさらに学ぶことで、平和と人権と、教育によって個人が成し遂げられるものを知りましょう。このことには男女平等と人権と平和と啓発が含まれます。これら全てにおいて、私たちは教育の果たす重要な役割を意識しましょう。
5. 上記の全てを私たち全員が意識して、個人の明確な目標を明らかにするよう全力を尽くしましょう。



と、そして、毅然として、自分に課されている大量の仕事をこなしていく邊廣烈くんと沈相宇くん。彼らは、フロア参加も含め、三つの国際高校生会議を知る、ある種、「(国際会議を知る)猛者」。邊廣烈くんは、3百名以上にのぼる高校生を束ね、海外ゲストをガイドするセクションの総責任者。当日は熱がある体調不良の中で他校の仲間に支えられ、陣頭指揮をとります。その様子に不<sup>良</sup>なところは微塵も見られません。彼の指揮、そのそばに、日英バイリ

ーがみな、自分の役割を果たしつつ、世界会議に見事に「参加」してい<sup>た</sup>のです。以上のことは、この5名だけの成果ではありません。一昨年度の「日韓中3ヶ国国際高校生会議」のメンバーであつた金蓮姫さん・鄭俊くん・姜瑜珍さん・姜瑜羅さん・朴苑善さん、昨年度の「アジア太平洋地域8ヶ国国際高校生会議」のメンバーの姜瑜羅さん・朴苑善さん・邊廣烈くん・沈相宇くん・都悠兆くんたちから、脈々と受け継がれた「UNESCO ESD」スピリットとKIS「越境人」スピリットのなせる技！

それが、大会最終日に日本語・英語・フランス語で採択された世界31ヶ国+9地域による「ユネスコスクール世界大会Student (高校生) フォーラム共同宣言」にも表れていると思<sup>い</sup>い。これが、大会最終日に日本語・英語・フランス語で採択された世界31ヶ国+9地域による「ユネスコスクール世界大会Student (高校生) フォーラム共同宣言」にも表れていると思<sup>い</sup>い。これが、大会最終日に日本語・英語・フランス語で採択された世界31ヶ国+9地域による「ユネスコスクール世界大会Student (高校生) フォーラム共同宣言」にも表れていると思<sup>い</sup>い。



皆がみな、自分の役割を果たしつつ、世界会議に見事に「参加」してい<sup>た</sup>のです。以上のことは、この5名だけの成果ではありません。一昨年度の「日韓中3ヶ国国際高校生会議」のメンバーであつた金蓮姫さん・鄭俊くん・姜瑜珍さん・姜瑜羅さん・朴苑善さん、昨年度の「アジア太平洋地域8ヶ国国際高校生会議」のメンバーの姜瑜羅さん・朴苑善さん・邊廣烈くん・沈相宇くん・都悠兆くんたちから、脈々と受け継がれた「UNESCO ESD」スピリットとKIS「越境人」スピリットのなせる技！

これが、大会最終日に日本語・英語・フランス語で採択された世界31ヶ国+9地域による「ユネスコスクール世界大会Student (高校生) フォーラム共同宣言」にも表れていると思<sup>い</sup>い。これが、大会最終日に日本語・英語・フランス語で採択された世界31ヶ国+9地域による「ユネスコスクール世界大会Student (高校生) フォーラム共同宣言」にも表れていると思<sup>い</sup>い。これが、大会最終日に日本語・英語・フランス語で採択された世界31ヶ国+9地域による「ユネスコスクール世界大会Student (高校生) フォーラム共同宣言」にも表れていると思<sup>い</sup>い。

これが、大会最終日に日本語・英語・フランス語で採択された世界31ヶ国+9地域による「ユネスコスクール世界大会Student (高校生) フォーラム共同宣言」にも表れていると思<sup>い</sup>い。これが、大会最終日に日本語・英語・フランス語で採択された世界31ヶ国+9地域による「ユネスコスクール世界大会Student (高校生) フォーラム共同宣言」にも表れていると思<sup>い</sup>い。

これが、大会

## Reflection

# ユネスコスクール世界大会 高校生フォーラムを振り返って



邊廣烈くん  
高等部3年  
「おもてなし」班  
責任者



今回のユネスコ世界大会での  
各自の役割は？

**邊廣烈** 僕の役割は、海外からの高校生ゲストの涉外を担う「おもてなし」チームの責任者でした。チーム全体は333名で構成されていました。チームを動かし、情報収集をしつかり収集し、海外ゲストの誰々が今なにをしているかをリアルタイムで把握する必要がありました。日本に初めてきた海外ゲストも少なくないので、屋外で事故など何かあれば大変なことになりますから。ゲストの安全確保と会議のスムーズな進行のためのサポートが僕の大きな役割のひとつでした。

**姜尚潤** 僕も「おもてなし」チームでした。実際に海外ゲストをヘルプする仕事でした。南太平洋の斐ジーからのゲスト5名を日本の高校生10名が担当し、その中で僕がリーダーでした。全体リーダーからの指示を伝えた後、誘導したり。相手が望むことを考えて「おもてなし」をすることでした。

**都悠兆** 僕は、昨年と同じ「工房・問題解決」チームでした。このチームの「工房」の仕事は、会場の席の配置やレイアウトの準備などで、「問題解決」というのは他のチームで解決しきれな

社会問題を先進国は「抽象的」に表現するが、途上国は「具体的」に表現するが、

(邊廣烈)

いような緊急事態のときに僕たちが出て問題を解決するという役割でした。

**黄智苑** 私は「おもてなし」チームとしてフランス語を使う、南米・ハイチの高校生を担当しました。フランス語はボンジュールしかわからないし（笑）、最初はすごく不安でした。でも英語を使ってコミュニケーションしながら、すぐに仲良くなりました。

海外ゲストの高校生のレベルの高さをすごく感じましたね。日本や韓国などの東アジア圏以外の参加者の醸し出している雰囲気が違いました。積極性が一番大きいかな。



今回の世界大会に参加して、印象に残ったことは？

**邊廣烈** 海外ゲストの高校生のレベルの高さを感じましたね。日本や韓国などの東アジア圏以外の参加者の醸し出している雰囲気が違いました。積極性が一番大きいかな。

**姜尚潤** 海外ゲストが何かを伝えようとするときには、こちらが聞きとりづらいときでも、必死にジェスチャーで伝えようとします。優しかったし、どつちがホストか分からない感じのときもありました。

**都悠兆** 会議のときも、昨年のアジア・太平洋8カ国会議より、やはり32カ国会議ですから意見がバンバンでます。いろんなところで手が挙がっている状況でした。ヨーロッパなどの積極性は、「すごいなあ」と思つたり。日本からの参加者は東京、千葉、福島、大阪、岡山、愛知、京都などからでした。日本の参加者と海外参加者とは、育ってきた環境も違うし。福島からは原発問題の提起がありました。他の地域からは伝統・文化などのテーマが

多くて、貧困や環境問題などのシビアなテーマはアフリカやヨーロッパからの海外ゲストからが多かったです。

**邊廣烈** アジア諸国からは、あまりそんな深刻な問題はテーマに挙がらない。結局、どれだけ自分の問題として考えられているかの違いだと思います。貧困問題ひとつとっても自分たちの問題だと捉えている国と、そうでない国との意識「格差」について会議を通じて感じました。社会問題を先進国は「抽象」的に表現しますが、途上国は「具体」的に表現します。

**黄智苑** 積極性は同じかも知れませんが、韓国と日本は事前に用意した「台本」を見ながら発表します。そして、どちらかと言えば教科書的な意見を出されど、カナダやアフリカなどは世界的な問題を自分の言葉で表現します。視野や考え方が、狭くなく広いと感じました。

**都悠兆** 日本や韓国は考えてまとめてから、きちんと確認して言う、という感じ。他の国は言いたいことがあれば、まとめる前にまず「言う」。もっと言えば「言う」というより「伝える」という感じ。

**邊廣烈** 似た内容のことを言つたとしても、違うように聞こえる。グワッとつて迫つてくる感じかな。

途上国は「抽象的」に表現するが、

(邊廣烈)

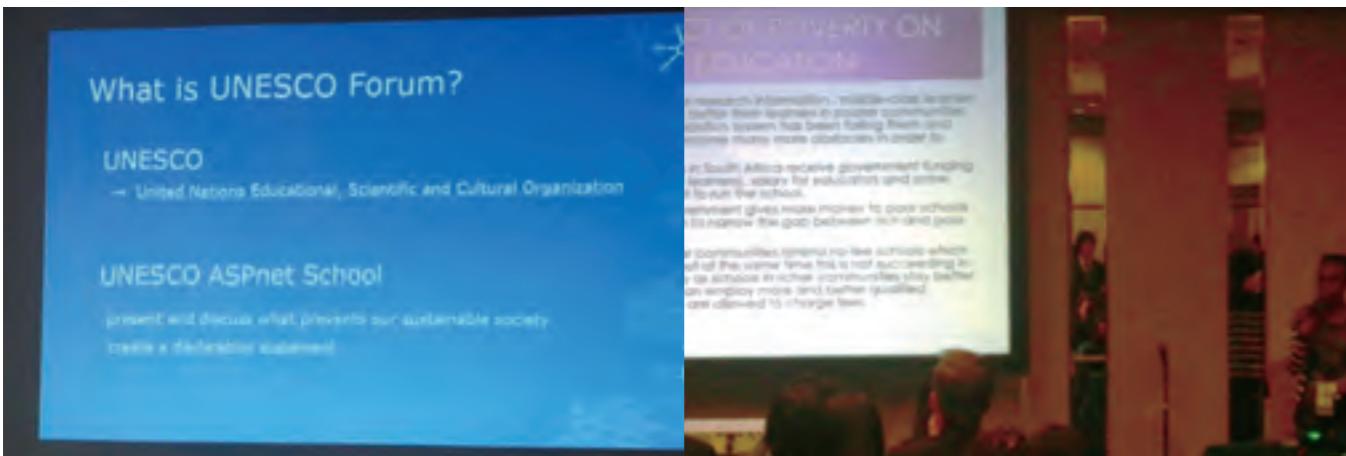
多くの貧困や環境問題などのシビアなテーマはアフリカやヨーロッパからの海外ゲストからが多かったです。

**邊廣烈** アジア諸国からは、あまりそんな深刻な問題はテーマに挙がらない。結局、どれだけ自分の問題として考えられているかの違いだと思います。貧困問題ひとつとっても自分たちの問題だと捉えている国と、そうでない国との意識「格差」について会議を通じて感じました。社会問題を先進国は「抽象」的に表現しますが、途上国は「具体」的に表現します。

**黄智苑** 積極性は同じかも知れませんが、韓国と日本は事前に用意した「台本」を見ながら発表します。そして、どちらかと言えば教科書的な意見を出されど、カナダやアフリカなどは世界的な問題を自分の言葉で表現します。視野や考え方が、狭くなく広いと感じました。

**都悠兆** 日本や韓国は考えてまとめてから、きちんと確認して言う、という感じ。他の国は言いたいことがあれば、まとめる前にまず「言う」。もっと言えば「言う」というより「伝える」という感じ。

**邊廣烈** 似た内容のことを言つたとしても、違うように聞こえる。グワッとつて迫つてくる感じかな。



# 英語は使えた。あとは主体性と臨機応変な対応ですね。（都悠兆）

黄智苑 日本と韓国の場合は、すでに皆が問題だと知っていることを言う。

邊廣烈 そうですね、やっぱり英語力ですかね。今回のユネスコ世界大会では、日本語、英語、フランス語の3ヶ国語を共通語としていましたが、すべてが分からぬ国が一ヵ国ありました。スペイン語なら分かる。期間中にその国の参加者がホテルに帰るときに、偶然私が対応せざるを得ないときがあり、とつさに口に出たのがやはり英語でした。からうじて分かるか分からぬかという顔をされましたが、なんとか切り抜けることができました。

姜尚潤 その時に、自分でも英語が口をついて出たのは意外でした。その時に、自分でも英語が口をついて出たのは意外でした。各グループで議題を出して話し合うという機会がありました。最後の閉会式でハプニングが？



KISで学んでいて役に立ったことは？

邊廣烈 そうですね、やっぱり英語力ですかね。今回のユネスコ世界大会では、日本語、英語、フランス語の3ヶ国語を共通語としていましたが、すべてが分からぬ国が一ヵ国ありました。スペイン語なら分かる。期間中にその国の参加者がホテルに帰るときに、偶然私が対応せざるを得ないときがあり、とつさに口に出たのがやはり英語でした。からうじて分かるか分からぬかという顔をされましたが、なんとか切り抜けることができました。

姜尚潤 本番前の準備セミナーのときのことでした。各グループで議題を出して話し合うという機会がありました。最後の閉会式でハプニングが？

## 自分の意見をもつと出したいたい。そのほうが「カッコイイ」。（黄智苑）

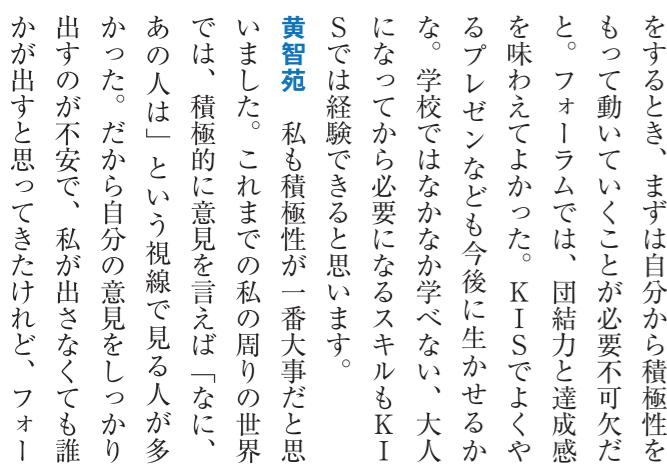
邊廣烈 はじめは開催地である岡山の高校生二人が、閉会挨拶をすることになっていたのですが、大阪の先生たちの中から「大阪からも代表ひとり出させてほしい」という声が上がり、最終的に僕が選ばれました。当日の昼食前に、ある先生が突然「邊くん、話があるんやけど。閉会式の挨拶をお願いする」と。岡山の二人は日本語で、僕は英語で準備することになりました。「今回の会議は終わりではなく、持続可能な社会に向けたスタートラインだ。一緒によりよい世界を創っていくこう！」と呼びかけました。

姜尚潤 今後の抱負について。

KISはこのフォーラムに本気で関わっていたと思います。他の学校の友だちから「KISは、カッコイイな」と言われたことがあります。イベントが始まる前に、池田先生がいつも「今日も頑張ろう」と声をかけ、全員で声を合わせます。「やっぱ、KISやるな」という他校の生徒の声も結構ありましたよ。

黄智苑 KISはこのフォーラムに本気で関わっていたと思います。他の学校の友だちから「KISは、カッコイイな」と言われたことがあります。イベントが始まる前に、池田先生がいつも「今日も頑張ろう」と声をかけ、全員で声を合わせます。「やっぱ、KISやるな」という他校の生徒の声も結構ありましたよ。

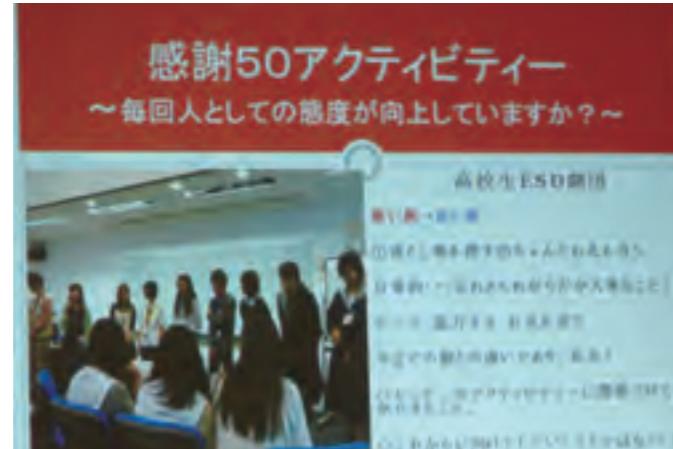
KISで普段なにげなくやっていることは、外に出てみると案外、大事なことが多い。（姜尚潤）



たことですが、それまでは積極性はそんなに必要ないと思ってきました。でも、ユネスコ世界大会の準備セミナーを重ねるうちに積極性はとても大事なものだと分かった。自分から行動を起こさないと何も得ることはない、と。KISで普段なにげなくやっていることは、外に出てみると案外、大事なことが多いなあ、と感じました。

都悠兆 何事にでも積極性を持つて臨むことの大切さについて学んだ。社会人になったとき、会議に出るとき、話をするとき、まずは自分から積極性をもつて動いていくことが必要不可欠だと。フォーラムでは、団結力と達成感を味わえてよかったです。KISでよくやるプレゼンなども今後に生かせるかな。学校ではなかなか学べない、大人になつてから必要になるスキルもKISでは経験できます。

黄智苑 私も積極性が一番大事だと思ふことの怖さを学びました。もう一つは積極性。これはKISで学んできました。これまでの私の周りの世界では、積極的に意見を言えば「なに、あの人は」という視線で見る人が多かつた。だから自分の意見をしつかり出すのが不安で、私が出てこなくても誰かが出で思つてきたけれど、フォー



黄智苑

KISはこのフォーラムに本気で関わっていたと思います。他の学校の友だちから「KISは、カッコイイな」とと言われたことがあります。イベントが始まる前に、池田先生がいつも「今日も頑張ろう」と声をかけ、全員で声を合わせます。「やっぱ、KISやるな」という他校の生徒の声も結構ありましたよ。

KISで普段なにげなくやっていることは、外に出てみると案外、大事なことが多い。（姜尚潤）